



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年7月29日

上場会社名 養命酒製造株式会社 上場取引所 東名
 コード番号 2540 URL <http://www.yomeishu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩澤 太朗
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 田中 英雄 (TEL) 03-3462-8138
 四半期報告書提出予定日 平成26年7月31日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成27年3月期第1四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	2,958	△5.0	261	△38.9	394	△28.7	276	△27.1
26年3月期第1四半期	3,113	△1.0	427	25.6	552	21.8	379	24.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	10.09	—
26年3月期第1四半期	12.62	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	37,018	32,618	88.1
26年3月期	37,058	32,431	87.5

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 32,618百万円 26年3月期 32,431百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	18.00	18.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,440	5.2	850	△9.8	980	△9.8	660	408.9	24.08
通期	13,490	4.0	2,250	2.1	2,480	1.3	1,690	2.4	61.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

27年3月期1Q	33,000,000株	26年3月期	33,000,000株
27年3月期1Q	5,596,595株	26年3月期	5,596,481株
27年3月期1Q	27,403,511株	26年3月期1Q	30,041,759株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(平成26年4月1日から平成26年6月30日まで)におけるわが国経済は、政府の経済政策や金融政策により緩やかな景気の回復基調が続いているものの、個人消費には消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動が見られるなど、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社の関連業界におきましても、生活防衛意識や節約志向、業種業態を越えた企業間競争の激化が続き、厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社は、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」という経営理念の下、「持続的成長に向けた事業構造の変革」を基本方針とする中期経営計画の最終年度として、「養命酒」の効率的かつ効果的な販売促進活動により、「養命酒関連事業による安定的収益基盤の構築」に努めるとともに、この収益基盤に基づき、新商品の販売に注力するなど、「新規事業領域の拡大と成長性の確保」の各施策に取り組んでまいりました。

当第1四半期累計期間の業績は、新商品等の売上は増加したものの、「養命酒」の売上が消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動を受け減少したことにより、売上高は2,958百万円(前年同四半期比5.0%減)、営業利益は261百万円(前年同四半期比38.9%減)、経常利益は394百万円(前年同四半期比28.7%減)、四半期純利益は276百万円(前年同四半期比27.1%減)となりました。

セグメント別には以下のとおりです。なお、当社は、当第1四半期会計期間より、セグメント情報の区分を「養命酒関連事業」及び「施設運営事業」から「養命酒関連事業」の単一の報告セグメントに変更しており、前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後の区分に組替えた数値で比較しております。

①養命酒関連事業

養命酒関連事業の売上高は2,889百万円(前年同四半期比6.6%減)となりました。

<養命酒>

国内における「養命酒」につきましては、安定的な販売を堅持することを目的に、新規顧客の獲得と継続的な飲用に繋げるための効率的な販売促進活動に努めました。「女は7の倍数、男は8の倍数」の節目年齢における養生や「胃腸不調」、「肉体疲労」をテーマとして、提供番組へのテレビ広告、テレビスポット広告やウェブキャンペーン、交通広告、ラジオ広告、雑誌とのタイアップ広告等を実施し、併せて店頭における販売促進活動を展開しました。一方で、4月から5月にかけて消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動が見られ、6月は前年同月並みに回復したものの、国内における「養命酒」の売上高は2,497百万円(前年同四半期比10.7%減)となりました。

海外における「養命酒」につきましては、東南アジア諸国を中心として「養命酒」の理解と知名度の向上を目的に市場調査や現地代理店を通じた市場環境に即したマーケティング活動に取り組み、試飲会の実施など店頭販売促進活動に努め、海外における「養命酒」の売上高は、概ね計画通りに進捗し、114百万円(前年同四半期比87.3%増)となりました。

以上の結果、「養命酒」全体の売上高は2,612百万円(前年同四半期比8.6%減)となりました。

<その他商品・サービス>

「ハーブのお酒」につきましては、「ハーブの恵み」は前年同四半期を下回る状況で推移しましたが、「フルーツとハーブのお酒」は、本年4月より「フルーツとハーブのお酒スパークリング」3種類などを発売してラインナップを強化し、セット品販売や記念日企画、プレゼントキャンペーンの企画提案など小売店と連携した店頭販売促進活動を実施したことにより、「ハーブのお酒」の売上高は、87百万円(前年同四半期比4.2%増)となりました。

「食べる前のうるる酢」につきましては、昨年6月に発売した「食べる前のうるる酢スパークリング」を引き続き関東1都6県のコンビニエンスストアにおいて販売するとともに、本年3月よりラインナップを強化し「食べる前のうるる酢ビューティー」2種類を関東1都6県のスーパーマーケットを中心に発売しました。商品及び商品価値の認知向上を図るためのテレビスポット広告やウェブ広告、通信販売におけるキャンペーン、店頭での試飲会等の販売促進活動を実施し、「食べる前のうるる酢」の売上高は49百万円(前年同四半期比147.8%増)となりました。

「くらすわ」につきましては、観光客の減少などによりショップ・レストランは伸び悩んだものの、販売分析に基づいた商品の入替や利益率の高いオリジナル商品の開発・投入、外部販売などに取り組み、「くらすわ」の売上高は93百万円(前年同四半期比11.0%増)となりました。

以上の結果、「ハーブのお酒」、「食べる前のうるる酢」、「くらすわ」にその他の商品・サービスを加え、「その他商品・サービス」全体の売上高は276百万円(前年同四半期比18.2%増)となりました。

②その他

不動産賃貸と昨年7月に稼働した鶴ヶ島太陽光発電所の売上を合算し、売上高は69百万円（前年同四半期比242.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ39百万円減少し、37,018百万円となりました。これは主に投資有価証券及び関係会社株式に含まれる保有株式が時価評価の増加等により203百万円、退職給付に関する会計基準等の改正により投資その他の資産のその他に含まれる前払年金費用が410百万円それぞれ増加した一方で、現金及び預金が710百万円減少したことによるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ227百万円減少し、4,400百万円となりました。これは主に固定負債のその他に含まれる繰延税金負債が201百万円増加した一方で、未払法人税等が411百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ187百万円増加し、32,618百万円となりました。これは主に退職給付に関する会計基準等の改正による期首の繰越利益剰余金256百万円の計上、四半期純利益276百万円の計上、配当金493百万円の支払いにより利益剰余金が39百万円、その他有価証券評価差額金が148百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期決算短信（平成26年5月9日公表）において発表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更しました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期会計期間の期首の前払年金費用が395,121千円、利益剰余金が256,434千円それぞれ増加しております。なお、当第1四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,639,381	1,928,835
売掛金	2,562,436	2,588,845
有価証券	3,102,513	4,100,901
商品及び製品	379,278	356,130
仕掛品	161,482	151,635
原材料及び貯蔵品	487,122	468,578
その他	209,376	323,583
流動資産合計	9,541,590	9,918,508
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,178,880	3,135,019
その他(純額)	3,264,142	3,252,993
有形固定資産合計	6,443,023	6,388,013
無形固定資産	26,883	25,975
投資その他の資産		
投資有価証券	14,412,223	13,880,795
長期預金	4,100,000	4,100,000
その他	2,539,865	2,710,712
貸倒引当金	△5,058	△5,058
投資その他の資産合計	21,047,030	20,686,450
固定資産合計	27,516,937	27,100,438
資産合計	37,058,528	37,018,947
負債の部		
流動負債		
買掛金	262,448	223,211
未払法人税等	473,052	61,110
賞与引当金	244,102	110,309
その他	1,508,340	1,608,375
流動負債合計	2,487,944	2,003,006
固定負債		
役員退職慰労引当金	48,350	48,350
その他	2,090,984	2,348,644
固定負債合計	2,139,334	2,396,994
負債合計	4,627,278	4,400,001

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,650,000	1,650,000
資本剰余金	676,680	676,680
利益剰余金	32,755,411	32,794,962
自己株式	△5,014,677	△5,014,787
株主資本合計	30,067,413	30,106,854
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,363,835	2,512,092
評価・換算差額等合計	2,363,835	2,512,092
純資産合計	32,431,249	32,618,946
負債純資産合計	37,058,528	37,018,947

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	3,113,529	2,958,806
売上原価	990,834	978,624
売上総利益	2,122,695	1,980,182
販売費及び一般管理費	1,695,378	1,719,084
営業利益	427,316	261,097
営業外収益		
受取利息	10,666	8,683
受取配当金	113,823	124,221
その他	5,205	5,112
営業外収益合計	129,695	138,016
営業外費用		
支払利息	4,559	4,965
その他	39	14
営業外費用合計	4,598	4,980
経常利益	552,413	394,133
特別利益		
固定資産売却益	1,500	—
投資有価証券売却益	680	—
特別利益合計	2,180	—
特別損失		
固定資産除却損	84	1,333
特別損失合計	84	1,333
税引前四半期純利益	554,509	392,800
法人税、住民税及び事業税	141,000	82,000
法人税等調整額	34,418	34,419
法人税等合計	175,418	116,419
四半期純利益	379,090	276,380

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。